



『きのこの意外な謎に迫る!』

きのこって身近な生き物ですよね?でも実は様々な謎が残されているのです。むしろ、ほとんど何もわかっていない、のがきのこの世界かもしれません。

そんな謎だらけのきのこについて、現在行なっている研究をいくつか紹介します。

①きのこは何種?

日本には約3000種、世界には約2万種のきのこが知られています。でも名前がついていなかったり、未発見のきのこを含めると、軽く10万種を超える、という推定もあります。世界中から毎年4000点を超える標本を集め、その全てからDNAを解析することで、きのこの進化と多様性を明らかにする研究を進めています。



ブータンの正体不明のきのこ(左)とアマゾンで採集した高さ5mm(!)のスッポンタケ類、Xylophallus(上)。

②よく似たきのこ。本当に同種?

身近な公園などでよく見かけるきのこ。そっくりなものが、世界中どこでも見つかる場合があります。本当に同じ種なのでしょうか?それとも他人の空似で、進化的には類縁関係に無いのかもしれない。そのような「共通種」と考えられてきたきのこを世界の各大陸から採集し、DNAを解析しています。



小笠原(右)とニュージーランド(上)の水色のきのこ。遠く離れた地域に生える同種?それとも別種?



③放射能できのこは危険?

野生きのこの放射能濃度を測定すると、同じ地域に生えるきのこでも、とても高濃度なものと、測定不可能なほど低い濃度のものが両方あります。種によって異なる放射性物質の蓄積特性を明らかにするために調査を進めています。



クサウラベニタケ
かなり高い放射能濃度だったが、同じイッポンシメジ属でもほとんど値が検出されない種もある。

研究者に聞いてみました!

1) 専門は何ですか?

菌類、特にきのこ類の分類・進化・多様性について研究しています。

2) 研究者になろうと思ったきっかけは?

山奥を歩きながら、もしきのこに詳しくなれば食べ物を持たなくてもサバイバルできるのでは?と考えたのがきっかけです。でも実際にきのこ研究者になってみると、研

究対象である野生きのこを食べることは、ほとんど無くなってしまいました。

3) 最近の研究活動で、最も興味深かった出来事は何ですか?

小笠原諸島から、60年以上報告が無い超珍菌を自分でたくさん採集していたことです。論文の図版や記述と比べる限り、まさか同じきのこだとは思いませんでした。

4) 研究者になりたい方に一言アドバイスを!

自分にしかできないこと、自分だからでき

ること、を追究しましょう。それから、ユーモアを忘れないこともとても大事。すべての研究者はノーベル賞よりイグ・ノーベル賞を目指すべきだと考えています。

